



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年7月30日

上場会社名 株式会社ファインシンター

上場取引所

東・名

コード番号 5994

URL <https://www.fine-sinter.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 山口 登士也

問合せ先責任者 (役職名) 経理統括部長

(氏名) 春田 広嗣

(TEL) 0568-88-4355

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	11,401	3.9	7	△96.8	△77	—	110	△52.9
2026年3月期第1四半期	10,974	4.9	224	—	134	—	235	—

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 △214百万円(—%) 2026年3月期第1四半期 △113百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	25.92	—
2026年3月期第1四半期	55.01	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2027年3月期第1四半期	46,036	14,817	30.6	3,291.69
2026年3月期	46,378	15,051	30.9	3,352.74

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 14,085百万円 2026年3月期 14,347百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	10.00	—	15.00	25.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期(予想)	—	10.00	—	15.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	44,500	△3.7	1,200	0.4	800	6.0	500	—
								116.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、四半期決算短信【添付資料】P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2027年3月期1Q	4,420,000株	2026年3月期	4,420,000株
2027年3月期1Q	140,976株	2026年3月期	140,644株
2027年3月期1Q	4,279,190株	2026年3月期1Q	4,281,990株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】P. 3「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、原材料価格やエネルギー価格の高騰、物価上昇に加え、各国の通商政策や地政学的リスクの影響もあり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

また、中東地域やウクライナ情勢を巡る地政学的緊張の継続は、原材料等の調達、原油・エネルギー価格の変動及び国際物流の混乱を通じて、サプライチェーンおよび最終製品需要に影響を及ぼす可能性があり、世界経済の下振れリスクとして懸念されております。

一方で、こうしたエネルギー価格の高騰は、内燃機関車を中心とした自動車需要にも影響を及ぼし得るとともに、自動車産業における構造変化を一層加速させる要因となり得ます。そのなかでも、このような環境変化は電動化の進展やエネルギー効率の高い製品への需要拡大を促す側面も有しており、当社グループにとっては、中長期的な事業機会の拡大につながるものと認識しております。

こうした中、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は114億1百万円（前年同四半期比3.9%増）となり、営業利益は7百万円（前年同四半期比96.8%減）、経常損失につきましては77百万円（前年同四半期は経常利益1億34百万円）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、資本効率向上に向けた政策保有株式の縮減による投資有価証券売却益3億58百万円、米国子会社の事業停止に向けた準備に伴う事業構造改善費用52百万円の計上により、1億10百万円（前年同四半期比52.9%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①自動車焼結事業

当第1四半期連結累計期間においては、主要顧客のグローバルな生産・販売が堅調に推移したことや円安の影響により、当社グループの売上は増収となりました。具体的には、国内のハイブリッド車用インバーターの新規部品の受注数量が増加したことに加え、海外子会社において生産する日本向けエンジン部品及び駆動系部品の売上が安定して推移したことなどによります。

利益面では、原材料やエネルギー価格の高騰に加えて、労務費の上昇といったコスト増に対する販売価格への調整や、不採算製品に対する販売価格の適正化に取り組んだ一方、米国子会社の主要製品の一部生産打ち切りに伴う減益影響がありました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は103億85百万円と前年同四半期と比べ4億83百万円（4.9%）の増収となり、セグメント利益につきましては、4億43百万円と前年同四半期と比べ2億9百万円（△32.0%）の減益となりました。

②鉄道焼結事業

新幹線用プレーキライニングは受注増加の期間が終了し、2025年8月から通常受注に戻り売上は減少しました。また、新幹線用鉄系すり板の受注も昨年度比で減少傾向にあります。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は4億89百万円と前年同四半期と比べ1億42百万円（△22.6%）の減収となり、セグメント利益につきましては、1億2百万円と前年同四半期と比べ95百万円（△48.2%）の減益となりました。

③油圧機器製品事業

デンタルチェア用製品で特定の北米顧客が新機種を市場投入開始し、在庫確保のために売上が増加したこと、前年同四半期比増収増益となりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は5億23百万円と前年同四半期と比べ85百万円（19.6%）の増収となり、セグメント利益につきましては、1億32百万円と前年同四半期と比べ30百万円（29.9%）の増益となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

資産は460億36百万円となり、前連結会計年度末に比べ、3億41百万円減少いたしました。これは、主に現金及び預金の減少（前連結会計年度末比1億21百万円減）、投資有価証券の減少（前連結会計年度末比4億58百万円減）、未収入金の増加（前連結会計年度末比1億30百万円増）、退職給付に係る資産の増加（前連結会計年度末比3億11百万円増）等によるものであります。

(負債)

負債は312億19百万円となり、前連結会計年度末に比べ、1億7百万円減少いたしました。これは、主に借入金の減少（前連結会計年度末比3億63百万円減）、未払金の減少（前連結会計年度末比8億31百万円減）、電子記録債務の増加（前連結会計年度末比84百万円増）、営業外電子記録債務の増加（前連結会計年度末比1億92百万円増）、退職給付に係る負債の増加（前連結会計年度末比3億24百万円増）、賞与引当金の増加（前連結会計年度末比4億94百万円増）等によるものであります。

(純資産)

純資産は148億17百万円となり、前連結会計年度末に比べ、2億34百万円減少いたしました。これは、主にその他有価証券評価差額金の減少（前連結会計年度末比2億83百万円減）、利益剰余金の増加（前連結会計年度末比90百万円増）等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年5月14日に公表いたしました連結業績予想につきましては、現時点では変更しておりません。

なお、今後の業績動向に応じて業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,851,277	5,729,478
受取手形及び売掛金	7,908,471	7,955,359
電子記録債権	1,460,752	1,399,665
商品及び製品	1,166,893	1,134,065
仕掛品	1,801,159	1,748,499
原材料及び貯蔵品	3,594,980	3,501,986
その他	621,047	786,952
流動資産合計	22,404,583	22,256,007
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	17,070,438	17,216,115
減価償却累計額	△11,468,973	△11,596,239
建物及び構築物（純額）	5,601,464	5,619,876
機械装置及び運搬具	56,834,148	58,196,304
減価償却累計額	△48,564,390	△49,312,460
機械装置及び運搬具（純額）	8,269,757	8,883,844
工具、器具及び備品	7,531,237	7,765,642
減価償却累計額	△6,330,175	△6,485,195
工具、器具及び備品（純額）	1,201,061	1,280,447
土地	3,628,914	3,631,908
リース資産	733,793	688,909
減価償却累計額	△459,179	△443,431
リース資産（純額）	274,614	245,478
建設仮勘定	1,760,613	1,072,395
有形固定資産合計	20,736,426	20,733,950
無形固定資産		
電話加入権	11,407	11,407
リース資産	16,276	15,508
その他	676,790	665,614
無形固定資産合計	704,474	692,530
投資その他の資産		
投資有価証券	1,751,276	1,293,077
長期貸付金	4,999	4,919
退職給付に係る資産	-	311,646
繰延税金資産	720,829	648,967
その他	56,154	95,949
貸倒引当金	△680	△636
投資その他の資産合計	2,532,580	2,353,924
固定資産合計	23,973,481	23,780,405
資産合計	46,378,064	46,036,413

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,022,913	3,105,120
電子記録債務	2,419,876	2,504,591
短期借入金	8,228,280	7,886,335
1年内返済予定の長期借入金	3,650,296	3,731,104
リース債務	117,744	98,359
未払法人税等	177,205	287,290
未払消費税等	286,182	190,711
未払費用	851,524	810,919
賞与引当金	1,000,063	1,494,479
役員賞与引当金	38,439	6,433
営業外電子記録債務	316,610	509,536
その他	1,862,779	1,068,911
流動負債合計	21,971,915	21,693,792
固定負債		
長期借入金	5,440,360	5,338,439
リース債務	511,372	476,104
役員退職慰労引当金	110,053	94,433
退職給付に係る負債	2,909,129	3,233,988
資産除去債務	374,907	374,949
その他	8,757	7,614
固定負債合計	9,354,581	9,525,530
負債合計	31,326,497	31,219,323
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,203,000	2,203,000
資本剰余金	2,997,404	2,997,404
利益剰余金	4,697,274	4,787,849
自己株式	△161,772	△161,772
株主資本合計	9,735,906	9,826,481
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	870,074	586,744
為替換算調整勘定	3,197,313	3,165,983
退職給付に係る調整累計額	544,271	506,010
その他の包括利益累計額合計	4,611,660	4,258,738
非支配株主持分	704,000	731,869
純資産合計	15,051,567	14,817,090
負債純資産合計	46,378,064	46,036,413

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	10,974,779	11,401,395
売上原価	9,438,449	10,034,390
売上総利益	1,536,330	1,367,005
販売費及び一般管理費	1,311,338	1,359,881
営業利益	224,992	7,124
営業外収益		
受取利息	3,134	2,874
受取配当金	19,560	18,517
デリバティブ評価益	21,757	-
雑収入	14,154	10,061
営業外収益合計	58,607	31,453
営業外費用		
支払利息	94,862	98,238
固定資産除却損	11,735	3,270
為替差損	33,032	6,321
デリバティブ評価損	-	3,428
減価償却費	2,677	2,119
雑支出	6,433	2,690
営業外費用合計	148,741	116,068
経常利益又は経常損失(△)	134,858	△77,490
特別利益		
投資有価証券売却益	168,285	358,585
特別利益合計	168,285	358,585
特別損失		
事業構造改善費用	-	52,955
特別損失合計	-	52,955
税金等調整前四半期純利益	303,144	228,138
法人税等	42,758	91,451
四半期純利益	260,385	136,686
非支配株主に帰属する四半期純利益	24,841	25,760
親会社株主に帰属する四半期純利益	235,544	110,926

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	260,385	136,686
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△116,035	△283,330
為替換算調整勘定	△224,129	△28,484
退職給付に係る調整額	△33,492	△38,934
その他の包括利益合計	△373,656	△350,748
四半期包括利益	△113,271	△214,062
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△98,115	△241,994
非支配株主に係る四半期包括利益	△15,155	27,932

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(セグメント情報等)

1. 前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注1)	総合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	自動車 焼結事業	鉄道 焼結事業	油圧機器 製品事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	9,902,232	631,891	437,835	10,971,960	2,819	10,974,779	—	10,974,779
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	9,902,232	631,891	437,835	10,971,960	2,819	10,974,779	—	10,974,779
セグメント利益	652,933	197,598	101,706	952,238	970	953,208	△728,216	224,992

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメント等であり、発電及び売電、食品に関する事業です。

2 セグメント利益の調整額△728,216千円は、全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注1)	総合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	自動車 焼結事業	鉄道 焼結事業	油圧機器 製品事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	10,385,809	489,205	523,533	11,398,549	2,846	11,401,395	—	11,401,395
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	10,385,809	489,205	523,533	11,398,549	2,846	11,401,395	—	11,401,395
セグメント利益	443,793	102,370	132,083	678,247	562	678,809	△671,685	7,124

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメント等であり、発電及び売電、食品に関する事業です。

2 セグメント利益の調整額△671,685千円は、全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	773,869千円	633,837千円